

稲築中学校区義務教育学校開校準備について

答 申

【義務教育学校の校章に関する事項】

【義務教育学校の校歌に関する事項】

【その他義務教育学校の開校準備に関する事項】

令和4年7月

稲築中学校区義務教育学校開校準備委員会

目 次

1. はじめに	1
2. 審議の内容と結果	2
(1) 校章について	2
(2) 校歌について	4
(3) その他義務教育学校の開校準備に関する事項について	6
3. おわりに	7
資料1 校章デザインの応募結果	8
資料2 モノクロ	9
資料3 諮問文	10
資料4 開校準備委員会開催経過	11
資料5 開校準備委員会委員名簿	12

1. はじめに

稲築中学校区義務教育学校開校準備委員会（以下「開校準備委員会」という。）は令和3年3月15日に嘉麻市教育委員会から、次の事項について諮問を受けた。

◎稲築中学校区義務教育学校開校準備について

- ・義務教育学校の名称に関する事項
- ・義務教育学校の校章に関する事項
- ・義務教育学校の校歌に関する事項
- ・その他義務教育学校の開校準備に関する事項

本開校準備委員会は、委員を学識経験者（教育公務員経験者）、保護者の代表者（PTA）、公共的団体が推薦する者（行政区長・青少年育成住民会議）、学校の代表者及び関係者（校長・教頭・推薦者）で組織し、協議の中に稲築中学校区の住民と保護者の意見及び学校としての意見を広く反映できるものとなっている。

本書は、上記諮問事項のうち、既に中間答申を行っている「義務教育学校の名称に関する事項」（令和3年7月21日付け、答申書により教育委員会に答申済）を除く、「義務教育学校の校章に関する事項」、「義務教育学校の校歌に関する事項」及び「その他義務教育学校の開校準備に関する事項」について答申するものである。

校章及び校歌については、学校名称と同じく後世まで記録され、また、これから稲築西義務教育学校に通学する児童生徒にとって、生涯にわたる重要な思い出となるものであるため、原案公募、学校意見等を通じ、関係児童生徒や新たに開校する義務教育学校を応援していただける方、又は関心がある方を対象に協力を求め、開校準備委員会での審議を経て、答申を決定したものである。

また、その他義務教育学校の開校準備に関する事項についても、稲築西義務教育学校の開校にかかる閉校記念事業及び開校記念事業について意見を付したものである。

本書が広く嘉麻市民の理解を得て、地域の住民及び児童生徒にとって誇り高く、愛される校章・校歌となることを強く期待する。

2. 審議の内容と結果

(1) 校章について

①校章デザインの公募について

開校準備委員会では、学校名称を選定したときと同様に、より多くの方から意見をいただくことができるよう公募型手法を用いることとした。

[募集内容]

義務教育学校の校章デザイン、校章デザインの説明と込めた思い

[募集期間]

令和4年1月1日から令和4年2月14日まで（1か月半）

[応募資格]

- ・新たに開校する義務教育学校を応援していただける方、又は関心がある方
- ・一人一点まで
- ・団体での応募も可

[応募基準]

- ・応募デザインは未発表のものとし、他の著作権に抵触しないもの

[その他]

- ・選定した校章デザインの著作権は嘉麻市教育委員会に帰属する
- ・校章デザインに、一部補正・修正等を行うことがある

②校章デザインの応募結果について

公募の結果、応募条件を満たした校章デザインについては、「資料1 校章デザインの応募結果」に記載したとおり。

応募総数：42件

③校章デザインの選定について

開校準備委員会では、まず開校準備委員会で選定を行った後、最終選定に向けた参考意見聴取として、対象児童生徒の意向調査を行った。その後、参考意見を考慮しながら最終選定を実施し、開校準備委員会として稲築西義務教育学校の校章デザインを決定した。

④校章デザインの決定について

稲築西義務教育学校の校章デザインとして決定する。(資料2モノクロ)



選定にあたり、現稲築西小学校及び現稲築中学校の校章に使われており、地域名称「稲築」の由来のひとつでもある「稲穂」を校章に入れるかどうかや、新しい義務教育学校のイメージに合うデザインであるか、カラー・モノクロ両方の仕様でも映えるデザインか、校章デザイン応募者の込めた思いと嘉麻市の思いが合致しているか、子ども達の意向はどうかなど様々な視点から協議を行った。

最終的に、義務教育9年間で育む稲築西義務教育学校にふさわしい校章デザインとして、嘉麻市の自然や風土が表現されており、ふるさとを感じ、やさしさや思いやりを感じる校章が良いとの意見に収束し、開校準備委員会として校章デザインを決定した。

⑤校章デザインの審議経過

応募のあった校章デザインの中から慎重に審議し、選定を行った。

第6回開校準備委員会では、委員の意見書により、20案に絞り込みを行った。

第7回開校準備委員会では、第6回開校準備委員会で絞り込んだ校章デザインについて更に選定を行い、7案に絞り込みを行った。

第8回開校準備委員会では、第7回開校準備委員会で絞り込んだ校章デザインについて補正・修正を行ったものを作成し、再度選定を行った。更に絞り込むため、対象校の児童生徒の意向調査を実施することを決定した。

第9回開校準備委員会では、児童生徒の意向調査の結果や、各校章デザインの特長について協議を行い、全会一致で校章デザインを決定した。

第10回開校準備委員会では、決定した校章デザインについて、色味や全体のバランス調整等の最終校正を行い、校章デザインを最終決定した。

<選定に係る主な意見>

- 校章の中の文字は、「西」より「稲西」が良い。西だけではどこの西か分からない。稲西に馴染みがある。
- 歴史的にも「稲」が付いていた方が良い。子ども達も理解しやすいと思う。
- シンプルな校章が良い。
- 凛々しさ、優しさ、和みを感じるものが良い。
- 学校から見える風景として「山」がある。
- 嘉麻市には嘉穂アルプスの4つの山（馬見山、屏山、古処山、江川岳）があるため、山が入っている部分が故郷という感じがして良い。

(2) 校歌について

①校歌について

開校準備委員会では、稲築西義務教育学校の校歌について先行事例を参考に、現行の校歌を継承した場合と、新たに校歌を制作した場合の2つのパターンについて協議を行うこととした。

[現行校歌の継承]

- i 現中学校の校歌を継承する
- ii 現小学校の校歌を継承する
- iii 現小学校と中学校の両校歌を、第1校歌・第2校歌などとして継承する

[新たな校歌の制作]

- 作詞方法
 - i フレーズを募集する
 - ii 歌詞全体を募集する
 - iii 作詞家に依頼する 等
- 作曲方法
 - i 曲を募集する
 - ii 音楽家教員に依頼する
 - iii 作曲家に依頼する 等

②校歌の選定について

開校準備委員会では、まず開校準備委員会で審議を行い、委員選出団体等からの意見、児童生徒会の意見を考慮しながら、稲築西義務教育学校の校歌を決定した。

③校歌の決定について

稲築西義務教育学校の校歌として決定する。

稲築西義務教育学校校歌（稲築西小学校校歌） 作詞 谷口廣保 作曲 末次寛八

1 山なみ遠く 陽にはえて 希望はるかな 雲が飛ぶ ああ 学び舎は 窓光り なかよしわれら 肩をくむ 学ぶよともに 意気高く 稲築西は わが母校	2 歴史を語る 嘉麻川に 郷土の栄え うつしつ ああ 学び舎は 汗光り きたえてわれら たくましく 励むよともに たゆみなく 稲築西は わが母校	3 稲の穂みのる 校章に 育ついのちよ すこやかに ああ 学び舎は 花かおり 誇りぞわれら のびていく すすむよともに 眉あげて 稲築西は わが母校
---	---	---

稲築西義務教育学校校歌（稲築中学校校歌） 作詞 入田利美 作曲 森脇憲三

1 山川も よりて教うる 学舎に 若やく心 眉あげて 眉あげて 空にえがくは 永久の 永久の 平和の園生	2 いと高き 憲法の調は 人の世の 理想の極致 誇らかに 誇らかに 絶えず奏でて 育くまん 育くまん 輝く生命	3 花かおる 明日を祈りて たゆみなく いそしむ責務 さしのべし さしのべし 双手に呼ぶは 讃うべき 讃うべき 吾等が母校
--	---	---

選定にあたり、児童生徒が歌いやすい校歌か、現行校歌の継承が可能か、新たに校歌を制作するにあたっての課題点は何かなど様々な視点から協議を行った。

最終的に、在校生・卒業生・地元住民が共に歌える現稲築西小学校校歌、現稲築中学校校歌を稲築西義務教育学校の校歌として継承し、校歌の運用方法については、学校運営の中で選択するとの意見に収束し、開校準備委員会として校歌を選定することとした。

④校歌の審議経過

第4回開校準備委員会では、先行事例を参考に選定の方向性を審議した。

第5回開校準備委員会では、各委員選出団体からの意見、児童生徒会の意見を参考に協議を行い、現行校歌を継承する方向で決定した。

第6回及び第7回開校準備委員会は、書面開催としたため校歌の審議なし。

第8回開校準備委員会では、現小学校と中学校の両校歌を継承することとし、校歌の運用方法については学校運営の中で選択することを決定した。

<選定に係る主な意見>

- 校歌は、懐かしく、思い出がたくさんあるから残したい。
- 現行校歌の歌詞は特に変更が必要なところはないため、残せるなら残していきたい。
- 校歌に誇りを持っている。現小学校、現中学校又は両方を校歌にしたい。
- 在校生、卒業生、地域の方が一緒に歌える現行校歌が良い。
- 小学生と中学生が同じ校歌を歌うことを考えると、現中学校校歌のアップテンポなところや短い間奏などについていけるか心配。
- 新しい学校で、新しい校歌、新しい歴史を作っていくことも大事だと思う。
- 新しい校歌を作成する場合、歌詞は公募できるが、曲については委嘱となる可能性が高く、提案を受け入れる形になってしまうので自分達の思いを込めた校歌が作れるのか不安。
- 現行の校歌を継承する場合、どちらを第1校歌・第2校歌とするのか。
- 第1校歌、第2校歌を開校準備委員会で決めるのではなく、学校運営の中でどちらの校歌を歌うのか決めてほしい。

(3) その他義務教育学校の開校準備に関する事項について

閉校記念事業及び開校記念事業について、開校準備委員会として次のように希望する。

義務教育学校の開校にあたり、長い歴史を持った小学校及び中学校が閉校を迎えるため、学校の記録を残す事業を行ってほしい。

また、開校記念事業については、地域コミュニティの核として地域住民に祝福される義務教育学校となるよう開校記念事業を検討し、実行委員会等の自主団体が設立された際には、活動経費に関し財政的な支援を期待する。

3. おわりに

開校準備委員会では、教育委員会から諮問を受けた校章、校歌及びその他義務教育学校の開校準備に関する事項について慎重に審議を行った。

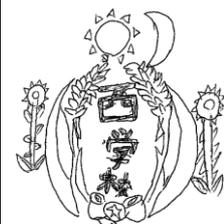
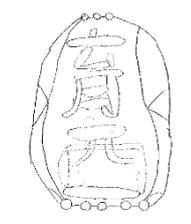
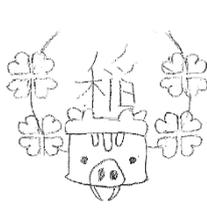
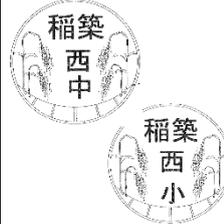
今後、校章・校歌については、答申に基づき教育委員会で速やかに決定され、校章については施設の外観デザイン等の象徴として、また、校歌については対象校において合唱等の練習を行い、稲築西義務教育学校の開校式等において声高らかに歌ってほしいと期待するものである。

開校を8か月後に控え、開校準備委員会としての活動は本答申をもって目的を達するが、稲築西義務教育学校が、地域の核として、地域に開かれた学校となり、保護者はもとより地域住民との協働による教育活動を実践し、幅広い方々に見守られながら、次代を担う児童生徒を育成できる学校となること。また、様々な教育活動に柔軟に対応できる校舎を最大限活用し、児童生徒の特性に応じた教育活動を実践する中で、児童生徒一人一人が健やかに学校生活を送りながら可能性を最大限に広げていくことを期待する。

最後に、小学校と中学校が統合し、一つの学校になる嘉麻市として初の取組みであり、教育委員会、学校、保護者、地域それぞれが密に連携を図りながら、円滑に義務教育学校の開校を迎えられることを切に願い結びとする。

資料1 校章デザインの応募結果

1		2		3		4	
5		6		7		8	
9		10		11		12	
13		14		15		16	
17		18		19		20	
21		22		23		24	
25		26		27		28	

29		30		31		32	
33		34		35		36	
37		38		39		40	
41		42					

資料2 モノクロ

モノクロ	モノクロ反転
	

2嘉教総第600号

令和3年3月2日

稲築中学校区義務教育学校開校準備委員会
会 長 殿

嘉麻市教育委員会

稲築中学校区義務教育学校開校準備について(諮問)

本市の学校施設整備につきましては、平成30年度の嘉麻市学校施設整備審議会での議論を踏まえ、小中一体型校舎による施設整備を進めてまいりました。また、小中一体型校舎における最良の教育方法についても検討を進め、令和2年2月に嘉麻市教育基本方針を策定し、小中一貫教育の導入及び小中一体型校舎が整備された中学校区においては、義務教育学校とする方向性を決定してまいりました。

なお、令和3年2月10日の臨時議会において、稲築中学校区の施設整備に係る契約議案が可決され、施設整備が本格的にスタートいたしました。

これからは、令和5年4月の義務教育学校開校に向け、地域の学校として皆様に愛される学校となるよう、様々な準備を進めていかなければなりません。

嘉麻市教育委員会では、義務教育学校の開校準備に係る下記の事項に関し、貴委員会のご意見を賜りたく諮問させていただきます。

貴委員会におかれましては、末永く地域に愛される学校となりますよう、学校・家庭・地域住民の声を幅広く反映させ、答申いただきますようお願い申し上げます。

記

- ・ 義務教育学校の名称に関する事項
- ・ 義務教育学校の校章に関する事項
- ・ 義務教育学校の校歌に関する事項
- ・ その他義務教育学校の開校準備に関する事項

資料4 開校準備委員会開催経過

回数	開催日	主な内容
第1回	令和3年 3月15日(月)	○会長及び副会長選出 ○諮問 ○教育委員会の取組について ○開校準備委員会の審議内容について ○学校名称に関する事項について ○その他
第2回	6月30日(水)	○学校名称応募結果について ○学校名称の選定について ○その他
第3回	7月 7日(水)	○学校名称の選定について ○中間答申(案)について ○その他
第4回	10月 7日(木)	○義務教育学校名称の決定について ○校章について ○校歌について ○その他
第5回	11月11日(木)	○校歌について ○校章について ○開校及び閉校に関する事業について
第6回 (書面)	令和4年1月27日(木) ~2月 6日(日)	○校章デザイン案の選定について ○その他
第7回 (書面)	2月24日(木) ~3月 6日(日)	○校章デザイン案の選定について ○その他
第8回	5月17日(火)	○委嘱書交付 ○校章について ○校歌について ○その他
第9回	6月 9日(木)	○校章について ○その他
第10回	7月 7日(木)	○校章について ○その他
第11回	7月27日(水)	○答申

資料5 開校準備委員会委員名簿

選出範囲	所属	氏名	備考
学識経験者	教育公務員経験者	秋丸 健兒	
保護者の代表者	稲築中学校 PTA	大力 智司 (第1回) 奥田 早苗 (第2回~第11回)	
	稲築中学校 PTA	平岡 真由美 (第1回~第7回) 山本 友美 (第8回~第11回)	
	稲築西小学校 PTA	塩川 智津子 (第1回~第7回) 大窪 真己 (第8回~第11回)	
	稲築西小学校 PTA	大窪 真己 (第1回) 大力 智司 (第2回~第11回)	
公共的団体が推薦する者	稲築地区行政区	冨崎 静江	
	稲築地区行政区	平井 由子	
	青少年育成住民会議 稲築支部	荒川 孝子	副会長
その他教育委員会が必要と認める者	稲築中学校推薦	永富 靖人	
	稲築西小学校推薦	山下 剛	会長
嘉麻市立小中学校の代表者	稲築中学校	伊東 新治	
	稲築西小学校	田淵 敬三 (第1回) 北富 真治 (第2回~第11回)	